

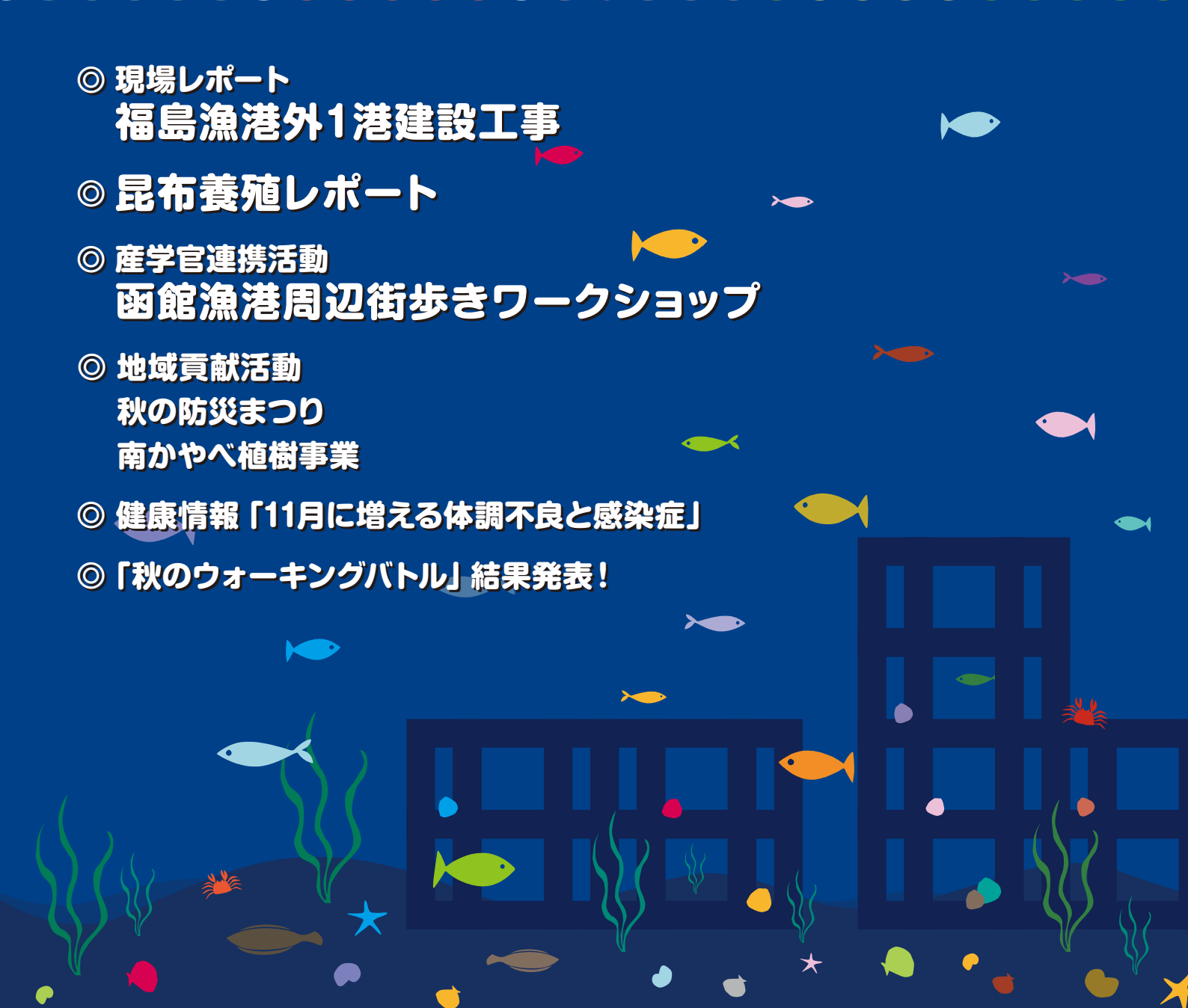
株式会社 菅原組 社報



おかげさま



- ◎ 現場レポート
福島漁港外1港建設工事
- ◎ 昆布養殖レポート
- ◎ 産学官連携活動
函館漁港周辺街歩きワークショップ
- ◎ 地域貢献活動
秋の防災まつり
南かやべ植樹事業
- ◎ 健康情報「11月に増える体調不良と感染症」
- ◎ 「秋のウォーキングバトル」結果発表！





CHECK!
Construction Site Report

現場レポート

【工事名】

福島漁港外1港 建設工事

今回の
レポーター

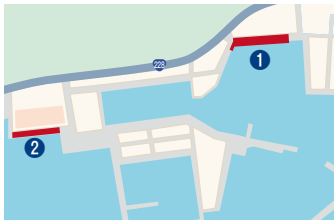


現場代理人 兼 監理技術者

さわや たかひろ

澤谷 高広

【工事場所】福島町



概要

福島漁港の衛生管理対策の強化と港の安全性向上・効率化のために改良工事を行います。

工期

令和7年7月2日～
令和8年3月2日まで

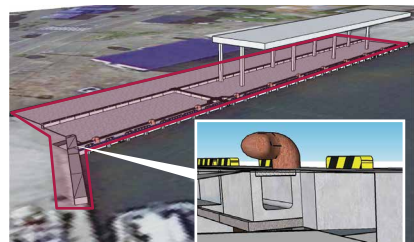
施工

(株)菅原組

今回の工事は、福島町の福島漁港と森町の砂原漁港の工事です。どちらも**全国的に活動している漁船が利用する第3種漁港**です。同じ管轄の漁港であるため、1つの工事としてまとめられていますが、距離がかなり離れている珍しい工事です。

福島漁港 屋根付き岸壁改良工事(港図①)

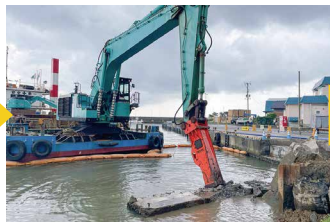
元々、屋根が無く魚の水揚げ時に鳥の糞などの混入や直射日光による水産物の品質低下が懸念されていました。そこで今回、**衛生管理の観点から屋根付き岸壁の整備を行うことになりました**。その中でも当社は岸壁や排水側溝、車止、防舷材などの部分を担当します。



排水側溝部分の断面図



鋼矢板圧入



コンクリート取り壊し



バックホウ浚渫



捨て石均し



水中コンクリート打設



コンクリート打設後(11/11取材時)

福島漁港 南護岸の改良工事(港図②)

アワビ養殖場前の道を舗装する工事です。狭い場所での工事に適している重機を使用し、安全対策をしながら工事を進めています。

1つの作業班で行っているの、岸壁の工事と両立できるようスケジュールを工夫しながら工程管理を行っています。



福島町は雪が多い地域のため、雪かきによるタイムロスがないよう、雪が降る前に終わらせたいと思っています。

砂原漁港 防舷材の撤去工事

新しい防舷材をつけるために元々付いていた防舷材(船を係留する際に傷つけないようにするクッション)を撤去する工事です。12月に撤去できるようスケジュールを組んでいます。

避難訓練

港の工事を行う際はどの現場でも津波を想定した避難訓練を行います。作業員が揃った日や作業船がいる時に行い、陸の作業員は高台へ避難し、作業船は沖へ出る訓練を行います。それぞれ避難にかかる時間を計り、実際に津波が起きても対応できるように備えています。

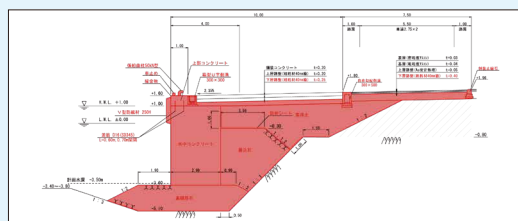


3Dモデリングソフト “Sketch Up”の活用

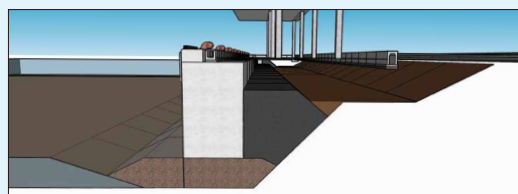


施工計画書や役所・漁業組合と協議する際に使用しています。平面図ではわかりにくいところも3DのCGにして説明することで、相手にも伝わりやすく、自分自身も完成形や工程をイメージしやすくなるため、とても重宝しています。提供された設計図を元に自分で作成することもあります。表現が難しい場合は業務管理課(ICT担当)に協力してもらっています。

ICTを上手く活用している他の建設会社では3Dで作成した工事過程を動画にして説明することもあるそうです。これからの工事では当たり前活用される技術だと思うので、今のうちに勉強しておく役に立つかもしれません。



▲ 提供された設計図(平面)



▲ 設計図を元に澤谷さんが作成した3Dデータ



- 若手の育成 -

**現場を率いる存在に。
どんな仕事も“報連相”が大事!**

若手の皆さんには、いずれは現場を率いる存在に成長してほしいと願っています。…とは言え、もちろん年数を重ねるだけでなれる訳ではありません。工事工程と一緒に確認したり、不明点に関してアドバイスをしたりと、その都度コミュニケーションを取って可能な限りサポートしたいと考えています。

また、複数人のチームで仕事を進める上では状況共有や意識統一は重要です。よく「報連相が大事」と言われますが、工事進行に影響することもあるので身につけてもらえればと思います。

今回、現場と一緒に担当している赤塚工事係員には同じ福島漁港内の福島町発注の工事で現場代理人を務めてもらいます。現場での経験で、更に成長してくれたら嬉しいです。



工事係 赤塚さん

**カッコいいと
思ってもらえるお手本に!**



現場代理人の澤谷所長との日頃のやりとりはもちろんのこと、今回の工事では屋根の工事を担当している他社とのやりとりも行っています。

現在(11/11取材時)は南護岸の改良工事を実施していますが、道幅がとても狭いので特に安全面に気をつけて作業を行っています。建物がギリギリなのでぶつからないよう、怪我をしないよう、いつも以上に注意を払っています。

一人で現場を持つことを目標に視野を広げて違う角度からも見られるように現場で学んでいきたいと思っています。後輩もだんだん増えてきたので、お手本になれるように頑張りたいです。



昆布養殖 レポート

当社では昆布養殖事業を行っています。10月は松前昆布の魅力をより皆さんに知っていただくため、様々なイベントに参加しました。

今後は、新しく生まれたつながりを大切にしながら、もっと松前の昆布を身近に感じていただける活動をしていく予定です。

函館短期大学 フィールドスタディ 受け入れ

10/11^土

参加者 菅原峻、花田忍

学生7名が再生可能エネルギーを学ぶフィールドスタディの一環で松前町を訪れ、当社の養殖事業のうち、昆布の袋詰めを体験しました。

TENOHA松前でブルーカーボンの説明の他、昆布を使った料理を試食し、昆布の魅力に触れる一日となりました♪



代官山イベント

10/12^日

美食の街松前 秋の味覚体験祭

📍フォレストゲート代官山 TENOHA棟
CIRTY CAFE(東京)

参加者 菅原峻、花田忍

東急不動産さん、松前観光物産協会さんからのお声かけで、昆布詰め放題・昆布製品づくり・産地別効き昆布水の体験を行いました。

効き昆布水では、「松前昆布って初めて聞いたけど、一番おいしい!」という声を沢山いただきました。また、ブルーカーボンの看板にも足を止める方が多く、環境への関心の高さも感じられました^^

松前の魅力を知っていただき、現地に足を運ぶきっかけになれば嬉しいです♪

食と観光ブランドフェア

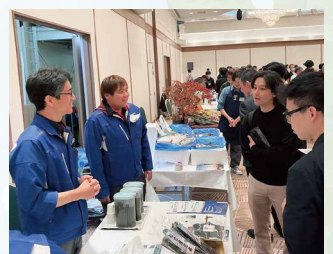
10/22^水 9:20~16:00

📍函館国際ホテル

参加者 菅原峻、花田忍、常盤裕明、菅原月美

全国の百貨店バイヤーや専門家が集まる商談・相談会に参加し、消費者のライフスタイルに合わせた食べ方の提案や販路づくり、関西圏での松前ブランドの可能性、地域の魅力を活かした商品展開などについて多くのご意見をいただきました。

松前昆布の試飲・試食が好評で、道南地域の複数企業との共同開発やコラボ商品の話も生まれました。今回の商談・相談会を通じて、食べてもらえる仕掛けと地域のストーリーを大切にしながら、松前昆布の魅力をさらに広げていけたら嬉しいです^^



10
SUN
26

小田島水産食品株式会社

函館漁港周辺街歩きワークショップ

建設業の若手技術者や北海道教育大学函館校の学生、地域の人々が連携し、函館漁港を中心とした函館西部地区の活性化策を検討、事業化につなげる取り組みが始まりました。

第1回では、海や漁村の地域資源を活かした「**海業(うみぎょう)**」や**函館漁港の機能**について学び、函館市漁業組合の瀧川組合長から漁業の現状やイカの可能性について伺いました。また、イカ塩辛を製造・販売する小田島水産食品株式会社の工場も見学しました。参加者と学生は学びをもとに意見交換を行い、函館の海の魅力や現状への理解を深めました。参加した学生からは「函館のイカの強みは?」「なぜ漁師の仕事を選んだのか?」などの質問が挙がり、漁業や地域資源に対する関心の高さがうかがえ、身近に感じている様子が見られました。

参加者

北海道教育大学函館校の学生10名
函館総合建設高等職業訓練校 訓練生
函館港湾事務所三岡所長ほか6名
北海道開発局農業水産部水産課長 内田氏
(株)はこだて西部まちづくRe-Design 北山氏
(株)ブリッジプロダクション 菊池氏
(株)Roots 早坂氏
函館市漁業組合 瀧川組合長
小田島水産食品(株) 3名
(株)菅原組

「海業について」

北海道開発局 農業水産部水産課長 内田氏



漁村では全国平均を上回るペースで人口減少や高齢化が進む一方、全国の漁村を訪れる交流人口は約2,000万人にのぼり、まだまだ大きな可能性があります。こうした状況の中で重要となるのが、海や食、文化など、海のある街ならではの地域の魅力を活かして収入や雇用を生み出す「**海業**」の取り組みです。**海業を進めることで、地域の活力を取り戻し、持続可能な漁村づくりにつなげることができ**とされています。具体的な取組も紹介され、今回の授業では「地域資源をどう活かして地域全体を盛り上げていくか」という視点が、大きなテーマとして示されました。

「函館漁港の説明」

北海道開発局函館港湾事務所 高橋氏・藤池氏



函館漁港の港湾機能についての座学を受けたあと、屋根付き岸壁など漁港内施設を実際に歩いて説明を受けました。漁獲物を保護し、作業効率を高めるための工夫を見学し、鮮度の良い海産物を届けられる仕組みを学びました。近代港湾工学の先駆者で函館漁港船入潤防波堤をつくった広井勇についても紹介があり、彼の技術が現代の港湾整備にも受け継がれていることを知りました。



▲お昼ごはん♪

小田島水産食品(株)の木樽で製造するさくら色の塩辛



▲見学の様子

函館市漁業組合 瀧川組合長より

遊漁船で釣ったイカを地域の提携店で調理して味わえる体験型観光プログラムが紹介されました。釣り体験に食や交流を組み合わせたもので、1シーズンに約100組が参加します。

イカは高たんぱく・低脂質で健康的な食材で、函館産のイカは生きたまま運ばれ、鮮度の良さが魅力です。さらに、イカの肝臓から作られるコレステリック液晶は、テレビなどの液晶技術の開発に、神経伝達の仕組みはバイオコンピューターに応用されています。

今後の開催予定

第2回 11月16日(日) 第3回 12月13日(土) 第4回 1月12日(月・祝) 第5回 2月1日(日) 第6回 2月21日(土)

地域貢献活動

秋の防災まつり withワクワクにこにこ元気会

11月1日(土) 10:00~12:30 万年橋小学校



函館てらこやの学生にお手伝いいただきながら、射的で倒した的の数に応じてお得になる「昆布の詰め放題」のほか、ロープの結び方を学べるレクチャーコーナーを出展しました!また、万年橋小学校金管バンド部による演奏や、ひでしま内科クリニックの理学療法士による健康講話など、盛りだくさんの内容で会場は

大いに盛り上がりました!あいにくの雨模様にもかかわらず、多くの方々にご来場いただき、イベントは大盛況のうちに終了しました♪



南かやべ森と海の会 植樹事業

10月25日(土) 11:00~12:00

函館市白尻町 史跡垣ノ島遺跡

毎秋行われている「南かやべ森と海の会 植樹事業」に参加しました。

今年は従業員と家族7名で参加。毎年参加している方も多く、手際よくサクラの苗木を植えることができました。

参加団体

渡島総合振興局東部森林室/函館市教育委員会生涯学習部文化財課/南茅部漁業協同組合/函館広域森林組合/南茅部女性団体連合協議会/個人会員



ぶり丼と三平汁



今年は熊の出没が増えているため、河川公園での昼食は断念。南茅部支所隣の総合センター内で食べました。作業後のご飯はとても美味しかったです(^^)



11月に増える体調不良と感染症

11月は季節の変わり目で昼間と夜間の寒暖差や日照時間が短くなることによって、体の不調が現れやすくなる時期です。また空気の乾燥により粘膜の防御機能が低下しやすいため、インフルエンザやノロウイルスなどの感染症も増加します。

普段から健康に気をつけている方も、より一層体調に気をつけて過ごしましょう。



だるい 眠い やる気がでない

季節性うつ病



秋から冬への変わり目に起こる疲労感、不眠、過食、頭痛、うつなどの心身の不調を指す俗称です。冬にかけて日照時間が短くなることによって、自律神経のバランスを調整する物質「セロトニン」の分泌が減少し、不足することで様々な症状が現れると言われています。

対策・予防

セロトニン生成に必要なタンパク質やビタミンなどの栄養素を摂取しましょう。また、自分の感情を人に話すことで緩和することもあります。照明を明るいものに替えたり、軽い運動をするのも効果的です。

これからの時期は要注意！！

ノロウイルス



吐き気、下痢、腹痛、発熱などの症状が見られる感染症で、感染者からの二次感染や汚染された生の二枚貝の摂取などが感染経路として考えられます。低温に強いウイルスである事に加え、冬が旬の二枚貝(牡蠣など)を食べる機会が増えるため、秋から冬にかけて感染者が増加する傾向があります。

対策・予防

食材や調理器具を触る前に手洗い・消毒をすることで予防することができます。ノロウイルスは高温での加熱(貝類では中心部85℃～90℃で90秒以上)で失活するとされています。

参考

頭痛一着「11月に現れやすい気象病と体調管理」
<https://zutool.jp/column/basic/post-23739>

厚生労働省ホームページ「ノロウイルスに関するQ&A」

https://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryoku/shokuhin/syokuchu/kanren/yobou/040204-1.html#01

健康づくりかわら版「季節の変わり目「だるう」の正体」
<https://www.jpnm1960.org/kawara/05/how-to-regulate-the-autonomic-nervous-system.html>

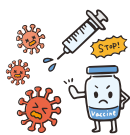
健康経営統括推進部所より

インフルエンザ

予防接種のご案内

当社は健康経営の一環で全従業員のインフルエンザ予防接種費用を全額会社負担で行っています。これから冬にかけてインフルエンザは本格的に流行します。

ワクチン接種を希望される方は、産業医またはかかりつけ医にて予防接種を受けてください。



「秋のウォーキングバトル」結果発表！

9月1日～10月31日
(2ヶ月間)

9月1日～10月31日まで2か月間開催した「菅原組R7秋のウォーキングバトル」が終了しました。皆さん大変お疲れさまでした！

1位は「ひなちゃん」さんで **1日平均14,925歩** でした。
おめでとうございます！

ランキングに入った**49名**の方に健康ポイントを付与します(^^)今回はこれまで歩数が少なかった方も頑張って歩いて健康を心掛けていました。これから冬に入りますが、**運動不足にならないように屋内でウォーキング**ができる場所を探すなど生活習慣化し、健康づくりをしていきましょう！



当社従業員は健康増進のための施設(スポーツジム等)利用料補助を受けられます。冬の運動不足解消に是非ご利用ください。



株式会社 菅原組 社報

おかげさま

Vol.74 2025年11月号

発行・企画:株式会社 菅原組

〒040-0076 北海道函館市浅野町4番16号

TEL:0138-44-3710 FAX:0138-62-3710

デザイン・印刷:株式会社 エルシープリント

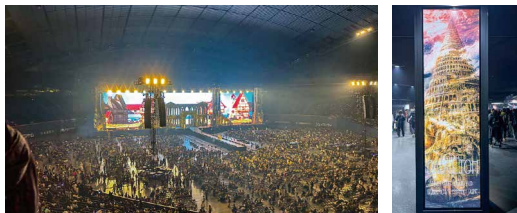
〒040-0072 北海道函館市亀田町6番7号

TEL・FAX:0138-40-6686

編集後記



先日、念願のMrs. GREEN APPLEのライブに行ってきました!!
約2時間半のライブでしたが、一瞬で過ぎてしまった最高の時間
でした。行けただけでも幸運でしたが、次こそは直接メンバー
の表情が見える席でリベンジしたい…。(野館)



TENOHA松前 昆布販売開始しました!



9月6日(土)より、TENOHA松前さんにて当社養殖昆布
の販売を開始しました!

現在は、

だし昆布
(100g/25g)

早煮昆布
(100g/25g)

きざみ昆布
(だし/早煮 25g)

を取り扱っています。

昨年オープンしたTENOHA松前さんは、コワーキングスペースやラウンジを備え
た松前町の新しい交流拠点です♪併設する「TENOHA CAFE」ではコーヒーや
プレートランチも楽しめるので、お出かけの際にぜひお立ちください^^

2025 はこだてクリスマスファンタジー

今年もクリスマスファンタジーの季節がやってきました。海の上に浮かべるツリーを乗せる台船を
今年も当社が準備します。ただ今、台船をクリスマス仕様に機装中です。

今年は例年より早めの11月29日(土)~12月25日(木)の27日間の開催です。期間中は毎日18時から
花火の打ち上げやスーパー出店などイベントも盛り沢山。是非足を運んでみて下さい(^^)

開催期間 11月29日(土)~12月25日(木)

場所 赤レンガ倉庫群前海上



ツリーイルミネーション点灯時間

毎日 16:30~17:45 / 18:00~22:00
※11/29は18:00点灯

プレミアムレッドツリー

毎日(約15分)
18:30~19:30~20:30~

花火の打ち上げ

期間中 毎日18時から
※天候により中止あり

はこだてクリスマス
ファンタジー公式HP
<http://www.hakodatexmas.com>
Hakodate Christmas Fantasy

はこだてマジックアワー商店街 in 菅原組

開催日:11月4日(火) 15:30~18:30



今回は昆布コラボメニューの販売のほか、ハロウィン企画として射的を
実施!タイヤショベルの展示も行い、子どもたちにも大人気でした♪

次回は 令和7年12月2日 四

15:30~18:30
開催予定です

●場所:菅原組本社駐車場(浅野町4-16)
※車は空いているスペースにお停めください

お楽しみに